

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1		・全体ミーティングや疑問に思った時に話ができる環境で話をし不在の職員にも伝わる様なシステムにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			・保護者からの評価等をミーティングや朝礼、終礼時に職員に伝え改善に繋げている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		1	
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		1	・アセスメントは6か月で面談を行いそれに基づいて評価と支援計画を作成している ・個別の担当者をつけるようにした。それにより個々の特性にあったサービスが行いやすくなった。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	1	・アセスメントツールについて職員が把握していないためアセスメントツールについて職員が学ぶ必要がある。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	1	
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3		・季節や天候により活動内容を決めている
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2	1	・平日は学校帰りのためあまり時間に余裕がないため出来るだけ利用児がゆっくり安全に過ごせるよう心掛けている。 休日や長期休みは平日できない活動を個別支援計画に沿って行っている。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	6	1	1	・個別担当者が個々の特性に合わせた課題、支援を考え自発管と相談しながら個別支援計画を作成している。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	1	・前日の終礼や当日の朝礼時に打ち合わせや内容を伝え確認している。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		1	・業務終了前に必ず終礼を行い、その日の振り返りを行い意見交換し共有している
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	1	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	3		・6か月に一度のモニタリングを行っており評価、見直しを行っている。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	3	2	
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1	1	・学校の年間行事やお迎え時間を確認し送迎している。 時間変更の場合は保護者に確認のうえ、他教室とも共有している ・学校との直接的なやり取りは行っていないため学校送迎の時などに学校と直接的に関われるようなアプローチを行っている
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1	3	・医療機関、主治医名を保護者に定期的に確認し分かりやすいようにカルテの一番前に入れている。 ・医療機関、主治医との直接的な関わりは持っていない。事前に医療機関、主治医と連絡をとり緊急時に備えられるような体制を整える
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	3	
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	3	
	24	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	2	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		・送迎時や電話、メール等で保護者との連絡を密に取るよう心掛けている。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	5	・子供の行動変容を目的とし保護者がほめ方や指示などの療育スキルを獲得する事を目的としているペアレントトレーニングは重症児の保護者の方に行うのは難しいところがあるが利用児さんの対応について保護者と相談したり助言を行う事はある。 ペアレントトレーニングを行うためには職員がペアレントトレーニングについて正しく学ぶ必要がある。
保護者への説明責任	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	4		・利用開始前の説明会(見学、体験)に行っている
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	3		・年2回個別面談を行い相談、助言を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	29	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・定期的にお便りを発行しているが、それ以外でお伝えしたいことがある時は文面やメールでお伝えするよう工夫している
	31	個人情報に十分注意しているか	8			
	32	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		・いろんな場面を想定しシミュレーションを行っている。 ・防災訓練等は実施した際はお便りを活用し保護者に周知してもらえるよう工夫している。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		
	36	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	2		
	37	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	1	
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		2	